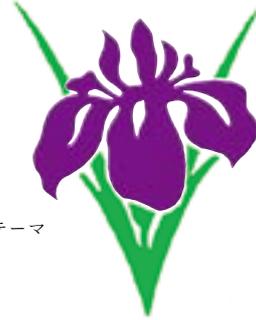


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 太田 宗一郎
幹事 杉浦 文雄
会報委員長 小川 耕示

2010 ~ 2011年度 国際ロータリー Ray Klinginsmith (レイ・クリンギンズミス) 会長テーマ

Building Communities Bridging Continents 地域を育み、大陸をつなぐ

第2718回例会プログラム

[当年度=37回目; 当月=3週目]

2011年(平成23年) 5月16日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……………〈会長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング斉唱

……………それこそロータリー

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 食事

12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告

8. 刈谷市中央図書館へロータリー文庫贈呈

……………館長 菊地 郁夫 様

9. 新入会員挨拶……………神谷 強 会員

加藤 英樹 会員

丹羽 克誌 会員

10. 幹事報告

11. 副幹事報告

12. 出席報告

13. 委員会報告

14. ニコニコボックス報告

15. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(5/23) ……

花見家族例会(親睦活動委員会)

10:00 ~ なばなの里

(5/30) ……

クラブフォーラム(環境保全委員会)

講師 地区環境保全委員会

委員長 鈴木 元弘 様

(豊田 RC)

(紹介者 吉原 孝彦 会員)

13:00 16. 本日のプログラム

地区出向者アワー

小川 耕示 会員(地区職業奉仕委員会)

竹内 一郎 会員(地区米山奨学委員会)

17. 謝辞

18. 点鐘……………〈会長〉

19. 閉会宣言

13:30 20. 散会

ゲ ス ト

刈谷市中央図書館 館長 菊地 郁夫 様

出 席

会員総数 92名 出席免除 26名

出席義務者+免除者の内例会出席者 85名

欠席 5名 出席率 94.12%

前々回(4/25)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 5月15日、西尾 KIRARA ロータリークラブ創立20周年記念式典に出席してまいりました。
- 2) 交換留学生でありました加藤五郎さんより5月28日、加藤親子トーク&ピアノコンサートの案内がきております。案内文を事務局で気づかっておりますのでよろしければ。

幹 事 報 告

- 1) 本日3名入会されましたので会員数を92名に訂正させていただきます。神谷強会員、加藤英樹会員は親睦活動委員会、丹羽克誌会員は会場委員会へお願い致します。

副 幹 事 報 告

- 1) 本日、例会終了後、次年度理事役員委員長会議を隣の会議室で行ないます。ご関係の方の出席をお願い致します。

委員会報告

●環境保全委員会

1) 刈谷市緑化推進協議会より、今年度も緑の募金の依頼が参りましたので、よろしくお願い致します。

会長あいさつ

ガバナー会からの報告

太田宗一郎



先週の水曜日の5月11日は東日本大震災が発生して2ヶ月となりました。当日は震災発生時間に被災地のあちらこちらにおいて、黙祷が捧げられておりテレビのニュースでも取り上げられておりました。現地では段々と復興に向けて動き出し始めましたが、津波に遭われた地域は、まだまだ後片付けが進んでいないところも多いようです。

5月11日にはガバナー会から「ガバナー会にお寄せいただいた義援金の集計報告と今後の方針について」と題してメールが参りました。

その内容は、

過日皆様から例会時にお寄せいただいたロータリーの義援金はガバナー事務所よりガバナー会に送金されました。

この第2760地区は23,820,340円の浄財を皆様からお寄せいただきました。

当地区のガバナー事務所はガバナー会へ3月31日に送金致しております。そして日本全国の地区より集まった義援金は5月2日現在780,971,017円となっております。

そのうち被災6地区へは総額115,000,000円を送金されており義援金残金は665,964,297円となっております。

ガバナー会は、日本全地区34名のガバナーによって構成されております。大震災発生後、議長・副議長を中心とした会合を2回と全体会議を2回、ガバナー会で立ち上げた「東日本大震災支援検討委員会」1回を開催し、ロータリーらしい用途について、真剣な議論を重ねました。ロータリーらしい支援活動は①公正にして②建設的であり、なお且つ③温かいプログラムであるということから2本の柱を設定し鋭意検討を進めております。

(1) 災害遺児の養育環境プログラム

…中学・高校・大学・専門学校生への奨学金支援

(2) ファイブ・フォー・ワン・クラブプログラム

…非被災5クラブが1つのグループを作り、被災

1クラブを物心両面で支えるプログラムの展開をあげており、年度内には具体的な支援内容を提示してまいりたいと思います。

災害遺児は4月22日現在524人で今後増加が見込まれます。また被災地区においては、相当数のクラブが現在例会を開けない状況であります。

(2)

この2本柱のプログラムの推進には複数年にわたる会員の皆様のご支援が必要となりますので会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ガバナー会では義援金の集計を5月20日(金)に一旦集計し、6月20日(月)に2010-11年度最後の締め切りと致します。

今後もガバナー会から義援金の報告や、支援の要請等があると思われれます。これからが本格的な復興に向けての活動となりますので長期的なご支援をよろしくお願い致します。

本日の会長挨拶はガバナー会の報告を会長挨拶に変えさせていただきます。

刈谷市中央図書館へロータリー文庫贈呈



新入会員あいさつ



氏名 神谷 強
生年月日 昭和38年3月14日
推薦者 岡本 巧 会員
職業分類 紙器製造
事業所名 刈谷紙器株式会社
役職名 専務取締役
所属委員会 親睦活動委員会



氏 名 加藤 英樹
 生年月日 昭和39年3月2日
 推薦者 神谷 光義 会員
 職業分類 家庭用家具製造
 事業所名 カリモク家具株式会社
 役職名 取締役社長
 所属委員会 親睦活動委員会



氏 名 丹羽 克誌
 生年月日 昭和40年11月14日
 推薦者 加藤 英二 会員
 職業分類 補綴歯科医
 事業所名 丹羽歯科医院
 役職名 院長
 所属委員会 会場委員会

地区出向者アワー

地区職業奉仕委員会のお仕事

地区職業奉仕委員会
 委員 小川 耕示 会員



地区へ出向して、はや1年がたとうとしています。実際は、地区協議会から、活動が始まっていますので、すでに一通りの委員会活動を経験させていただきました。

ほとんどの地区各委員会は、各クラブの委員会をサポートすることが仕事のように思われます。しかし、職業奉仕委員会は、10月の職業奉仕月間に、各クラブへの卓話派遣を行うぐ

らいで、ほとんどが「職業奉仕の本質は何か」を議論することが活動だったような気がします。特に「職業倫理」について研究するのが、今年の課題でした。委員会開催日が、いつも月曜日でしたので、刈谷クラブのクラブ会報の仕事終わってから、遅刻しての参加が何回もありました。おかげさまで、委員会が終わってから、喫茶店で委員長直々の職業倫理の居残り授業を何度も受けさせていただきました。

1年目なので、先輩の話に頷いていればいいと思っていた矢先、半田ロータリークラブで職業奉仕の卓話をしてくるようにと指示がありました。ここであわてて、職業奉仕について勉強することになり、ロータリーの綱領を何度も読み返すことになりました。日本語の綱領でさえ、まるでお経のようで、何がなんだか分らなかったのですが、いろいろな資料を読んでいくうちになんとなく分ってきたような気がしました。

これからもロータリー活動を積み重ねていくうちに、いつか、この地区職業奉仕委員会で学んだ職業奉仕の本質を理解できる日が来ることを願って、地区委員会ががんばってまいります。

米山奨学事業と地区委員会の役割について

2010—11年度 地区米山奨学委員長

竹内 一郎 会員



米山事業の特徴

通称「よねやま」とよばれているものは、正式には「ロータリー米山記念奨学事業」と申しますが、この「よねやま」につきまして、最初に強調したいのは、その事業の「透明性」であります。「いただいた寄付はすべて、奨学生のために使っております。」ロータリアンの寄付のすべてが、奨学金を中心とした奨学事業にまわされているのでございます。まず、この「よねやま」の「透明性」にご注目ください。

米山のひろがり長い歴史

次に申し上げたいことは、「よねやま」のひろがり長い歴史でございます。米山奨学生の終了者を米山学友と申しますが、この「米山学友」がまさに「よねやま」の「財産」、しいていえば、日本のロータリーの「財産」である、ということであります。「よねやま」とは、ひとことではいばまさに、日本のロータリアンの浄財である「米山へのご寄付」を、「米山学友」という財産に変えていく、「事業」である、といえるのであります。そして、その米山学友という財産は、日本と世界をつなぐ担い手として、毎年、確実に、世界的規模で蓄積されているということでもあります。

この米山奨学事業は、1952年東京 RC が、日本のロータリーの創始者、米山梅吉氏の功績を記念して始めた事業であります。その後、日本全国のロータリークラブがこれに参加致しまして、今日まで、実に、世界110以上の国と地域、1万5千人余りの奨学生を支援して参り

ました。

当2760地区では、今年度は38名の奨学生をお世話しております。累積と致しましては現在まで、延べ920人、実人数で555名の奨学生をお世話しております。

クラブ委員長と地区委員会の役割

そして明確にいえることは、この「よねやま」を支えているのは、日本中の全てのロータリアンである、ということでもあります。実は、普通寄付という形で、日本の全てのロータリアンの方からご寄付をいただいているからであります。そして、日本のロータリアンが所属する各クラブの、米山奨学事業における代表がクラブ米山奨学委員長さんであります。

「よねやま」の特徴に奨学生とロータリアンの交流ということがあります。第一義的には世話クラブ、カウンセラーと奨学生の交流になりますが、私ども地区の委員会と致しましては、「よねやま」の「現場」を体験し実感していただくために、地区内全てのクラブ委員長のみなさんと米山奨学生・学友との間に多くの交流の機会をもうけております。

1) 春・秋年2回行います、奨学生・学友の合同研修会、2) 夏に行われる学友会総会、3) 年末に行われる奨学生・学友の合同忘年会、4) 3月に行われる米山奨学生終了者歓送会、これら「全ての交流会」を、クラブ委員長さんたちと一緒にしております。より「オープン」な形で、「よねやま」を分かち合い、共有していきたいと考えております。「よねやまって一体何をやっているんだ？」ということ、クラブを代表するクラブ委員長さんにまず「現場」で「実感」をしていただきたいと我々地区の委員会は考えております。

来る11月20日に地区大会があります。地区大会では当地区の奨学生・学友の皆さんを地区の会員の方々にご披露致します。刈谷ロータリーの会員の皆さん、都合がつく限り、地区大会の時には是非とも世界各国の奨学生・学友とほんの一言でもいいですから会話を交わし、廊下会談になるとは思いますが、異文化交流の一端を楽しんでいただきたいと思えます。

米山奨学生はブランド品

最後に強調しておきたいことは、米山奨学生は難しい選考試験によって選ばれた、いわば選りすぐりの「ブランド品」だということです。そうした「ブランド品」との直接の交流をすることが、単に異文化交流を楽しむだけでなく、あるいは皆さんの事業所が海外事業を展開される際に必要とされる、優秀な人材を発掘する絶好の機会となるかもしれません。お手元に配布したクラブ委員長用米山奨学委員会年間予定表に記されている集會に出席して米山奨学生と交流を希望する会員は是非お申し出ください。

以上